

第3回国連防災世界会議パブリックフォーラム (ID-188)

レジリエント・コミュニティ - 私達の住まい, 私達の地域, 私達の復興 -



2015. **3.16** (月)
9:15 ~ 11:45 [開場 9:05]

趣旨

これまでに国連ハビタットは、世界各地の被災地で災害居住環境支援活動を進めてきた。本会議では、東北大学災害科学国際研究所の国際防災戦略研究室と国連ハビタットとの協働により、2004年インド洋津波や2011年東日本大震災被災地の地方自治体やコミュニティ・リーダーを招き、「住民、コミュニティの力」に焦点をあて、住宅再建および将来に向けたコミュニティ・レジリエンスを高めるための取り組みを共有する。またHFA2が先導する今後の地域支援のあり方、レジリエントな都市の形成、そして居住環境をつくっていくことにより形成される人間同士のつながりについて議論を展開していく。

プログラム (同時通訳)

- 9:05 開場** 司会進行：葉袋奈美子 (日本女子大学 准教授)
- 9:15 開会の辞** 村尾修 (東北大学災害科学国際研究所 教授)
- 挨拶** 深澤良信 (国連ハビタット福岡本部 [アジア・太平洋地域担当] 本部長)
- 9:20 パネル・ディスカッション「コミュニティ・レジリエンス」**
モデレーター：佐藤摩利子 (国連ハビタット バンコク)
パネリスト：
・村尾修 (東北大学災害科学国際研究所 教授)
・マイトリー・ジョンクライジャック (タイ カオラック バンナムケム)
・シェリル・パデュロ (フィリピン レイテ島 DAMPA)
・マウン・マウン・ミント (国連ハビタット ミャンマー)
・柴田渥 (岩手県釜石市松原町)
・宮脇茂俊 (大分県佐伯市宮野浦地区)
・イリザ・ビンティ・サドゥディン・ジャマール (インドネシア パンダアチェ市長)
・アルフレッド・ロムアルデス (フィリピン タクロバン市長) (予定)
- 11:20 質疑応答**
- 11:40 閉会の挨拶**

参加費無料 / 定員 400名

主催：東北大学災害科学国際研究所
共催：国連人間居住計画
担当：国際防災戦略研究分野
村尾修, 加藤園子
連絡先：skato@irides.tohoku.ac.jp
東北大学ウェブサイト：http://drr.tohoku.ac.jp

マルチメディアホール (東北大学 川内北キャンパス マルチメディア教育研究棟 2F)



仙台市営バス：
仙台駅前 16 番のりば「広瀬通經由交通公園点川内(営)行」
「広瀬通經由交通公園循環」乗車、バス停「川内郵便局前」下車 (15分)

本パブリックフォーラムは、東北大学災害科学国際研究所国際会議等助成、一般財団法人青葉工学振興会学術研究集会助成、および科学研究費補助金基盤研究 (A)「東日本大震災復興システムのレジリエンスと沿岸地域における津波に対する脆弱性評価」の支援を受けています。